

決算補足説明資料

2018年9月期

株式会社 岐阜造園

Gifu Landscape Architect Co., Ltd.

名証2部上場 証券コード：1438



1. 2018年9月期 連結業績

単位：百万円

	実績	予想	増減額	増減率(%)	前年実績	前年比(%)
売上高	3,752	3,421	331	9.7	3,808	98.5
売上総利益	1,003	960	43	4.5	977	102.7
販売費及び 一般管理費	751	723	28	4.0	757	99.3
営業利益	252	237	14	6.1	219	114.6
経常利益	256	250	6	2.7	249	102.8
当期純利益	174	167	6	4.1	175	99.4

2. 2019年9月期の展望

ランドスケープ事業

東京・大阪を中心とする都市部では、多様な分野の施設で緑化による癒し・安らぎを取り入れようとする動きが見られ、当社においても工事引き合い案件が増加しつつあります。

また今期は、中国青島市で計画されている、日本庭園を中心とした観光レジャー施設の企画設計管理業務を受託し、国内のみならず海外への販路拡大も視野にいれております。

今期は、右のような案件を受注予定です。

(中部)

リゾートホテル、高級マンション、駅前商業・住居複合ビル、スーパーエコスクール、都市公園イベント広場等

(関西)

有料サービスエリア施設、特別支援学校、有料老人ホーム等

(関東)

ブライダル施設、温泉浴施設、集合住宅、高級ホテル、有料老人ホーム等

(九州)

複合商業ランドマークタワー等
(海外) 中国青島にて観光レジャー施設の企画設計管理業務
(日本庭園を中心とした観光レジャー施設)

ガーデンエクステリア事業

最近では、当社の匠の技術を発揮できる高級物件が、ハウスメーカー発注の物件、また当社パインズでの受注物件ともに増加しています。

特に高級アパート物件は増加傾向にあり、当社が受注する緑豊かな外構緑化工事も高額化しています。

今期は、右のような案件を受注予定です。

- ・大手ハウスメーカーの分譲地における個人邸の外構緑化工事

- ・愛知県内の大型分譲地での街路・公園を含む緑化工事

- ・高級アパート物件の外構緑化工事

3. 2019年9月期 重点施策

東京に新事務所を開設

上場3年目を迎え、特に関東地区での工事引き合い件数に増加の兆しが見えてきました。

2019年期中には、東京に新事務所を開設し、関東地区でのデベロッパーや設計事務所に対する営業活動を本格的に開始いたします。

職人型現場力による高収益化

昨今の働き方改革により、就労時間の制限で売上が減少する懸念があります。

今期は、当社の最大の強みである品質と工期を厳守する職人型現場力を最大限に活かせる工事を選択受注することで、減収であっても増益を実現します。

職人の確保と育成

昨今の建設ラッシュに伴い、職人不足（職人の技術力不足）が深刻な問題となっております。言い換えるなら、職人の技術や能力のレベルアップが関東地区攻略の重要な鍵となります。

「職人型現場力」の伝承が業績向上への大きな課題として取り組んでまいります。

アライアンスの積極的な推進

関東地区、関西地区への展開の一つとして、造園業界唯一の上場企業というアドバンテージを活かし、資本提携や業務提携（アライアンス）を積極的に推進してまいります。